

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 1 審議会名 | 第1回上田市上野が丘公民館運営審議会 |
| 2 日時 | 平成30年7月12日 午後3時から午後5時まで |
| 3 会場 | 上野が丘公民館 2階 第2学習室 |
| 4 出席者 | 吉池正敏会長、目黒正子副会長、井坪秀明委員、井出操委員、桜井記子委員 |
| 5 市側出席者 | 山口美栄子上野が丘公民館長、小林成子社会教育指導員 |
| 6 公開・非公開 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 会議概要作成年月日 | 平成30年7月12日 |

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ (吉池会長、山口公民館長)
- 3 協議事項
 - (1) 平成30年度事業計画・中間報告について
 - ・資料に沿い、山口館長、小林指導員から公民館事業について概要を説明
 - ・以降、協議
 - (委 員) わいわい塾は周到に準備がされている。
 - (委 員) 公民館の活動は子どもから高齢者まですべての世代が活動しているが、この地域は、わいわい塾などを通してすべての世代がつながりを持つことができているのではないか。
 - (委 員) 新規事業「男の料理教室」の中身について聞きたい。
 - (委 員) 青少年育成推進などの事業で、子育て真っ最中のお母さんや若い男性、高齢者と様々な世代と一緒に集まり、また女性ばかりでなく男性も参加しているのが素晴らしい。
 - (委 員) 神科小の学校支援にどうしてたくさんの人が集まり、活動できているのか他の地域の人から聞かれた。事の始まりは「わいわい塾」に集まったボランティアの人たちから始まったと聞いて、公民館の果たした役割は大きく、そしてそれが育っている事がわかった。
 - (委 員) 自治会懇談会の講師を務めたベトナム人の技能実習生はいつから公民館とかかわっているのか。
 - (委 員) 中学生が地域に出て交流し、ボランティア活動しているというのは、五中だけではないか。うまく公民館の活動からつなげてもらっている。社会教育指導員のがんばりだけではなく、当時の館長が公民館の仕事として前向きに位置付けたことがよかったのではないか。
 - (事務局) 講座開講の経過、内容について補足説明。
 - (委 員) 住民自治組織と放課後の児童の居場所との関係について神科と豊殿の現状について、また公民館の青少年健全育成とどう結びついているのか。
 - (事務局)(委 員)現状を説明
 - (委 員) 豊殿地域は公民館とのかかわりが神科地域より少ない。公民館も外に出るような形で、豊殿地区の人たちが公民館とかかわれるように、また文化的につながれるように、人づくりも含めて前に進んでもらいたい。
- 協議結果：さらに充実した公民館事業に期待したい。
- (2) 諮問案件について「信州型コミュニティスクールと公民館の役割について」
 - ・資料に沿い、山口館長が経過等説明後、質疑ならびに協議。
 - (委 員) 上田市のどこの学校も公民館が主体になって、学校と地域をつなげる役割をしているのか。
 - (事務局) 現状を説明。
 - (委 員) 「信州型コミュニティスクール」は長野県が平成29年に進めておきながら、進めていく、維持していく予算付けがない。どこからもお金がでていない。ボランティアにかかわっている人

も御苦労されている。

(委員) 県内も実態がバラバラ。市としての方向性も見えない。

(委員) 福祉の地域づくりも一緒。学校支援の分野では同じ人がボランティアとして活躍している。人材もひっぱりだこ。

(委員) 学校支援の現状について、児童の親たちはどう受け止めているのか。まずは知ることが大事。それが次の世代につなげることにつながるのではないか。ボランティアがかかわることの意味など、どのように受け止めているか、PTA などでも、お互いに知り合うことから始めてみては。

(委員) 広報 PR 少ない。「そよかぜ通信」などを使って PR にも力を入れてほしい。

○本日出された意見や委員の皆さんからの意見書をもとに、答申をまとめることになった。

(3) その他

- ・上野が丘地域伝統芸能団体の現状について報告
- ・今後の予定について